

新・大阪市緑の基本計画について

平成28年8月10日（水）

第1回 みどりのまちづくり審議会



新・大阪市緑の基本計画について

緑の基本計画とは

- 大阪市みどりのまちづくり条例第8条において位置付け
- 都市公園の整備等だけでなく、都市計画制度によらない道路や河川などの公共空間の緑化、下水道施設、学校などの公共公益施設の緑化、民有地における緑地の保全や緑化、さらには緑化意識の普及啓発などのソフト面の施策も含めた、都市のみどりに関する総合的な計画

計画の概要

- 計画期間：平成37年度末
- 計画の構成：基本理念と5つの基本方針に沿ったみどりのまちづくり施策から構成

「基本理念」と「基本方針」について

基本理念

みどりの魅力あふれる大都市・大阪

～だれもが住みたい・働きたい・訪れたいと思う“みどりの都市”へ～

基本方針

基本方針①

だれもが住みたい・働きたい・訪れたい
と思う“みどりの基盤”を構築する

基本方針②

みどりを市内および周辺につなげていく
“みどりのネットワーク”を構築する

基本方針③

大阪の個性を特徴づける自然・歴史・
文化の“みどりの骨格”を構築する

基本方針④

既存ストックと民間活力を最大限に活か
し、“みどりの都市魅力”を構築する

基本方針⑤

市民・事業者・行政が将来像を共有し、みどりのまちづくりを推進する“仕組み”を
構築する

基本方針①について

だれもが住みたい・働きたい・訪れたいと思う
“みどりの基盤”を構築する

施策の方向性

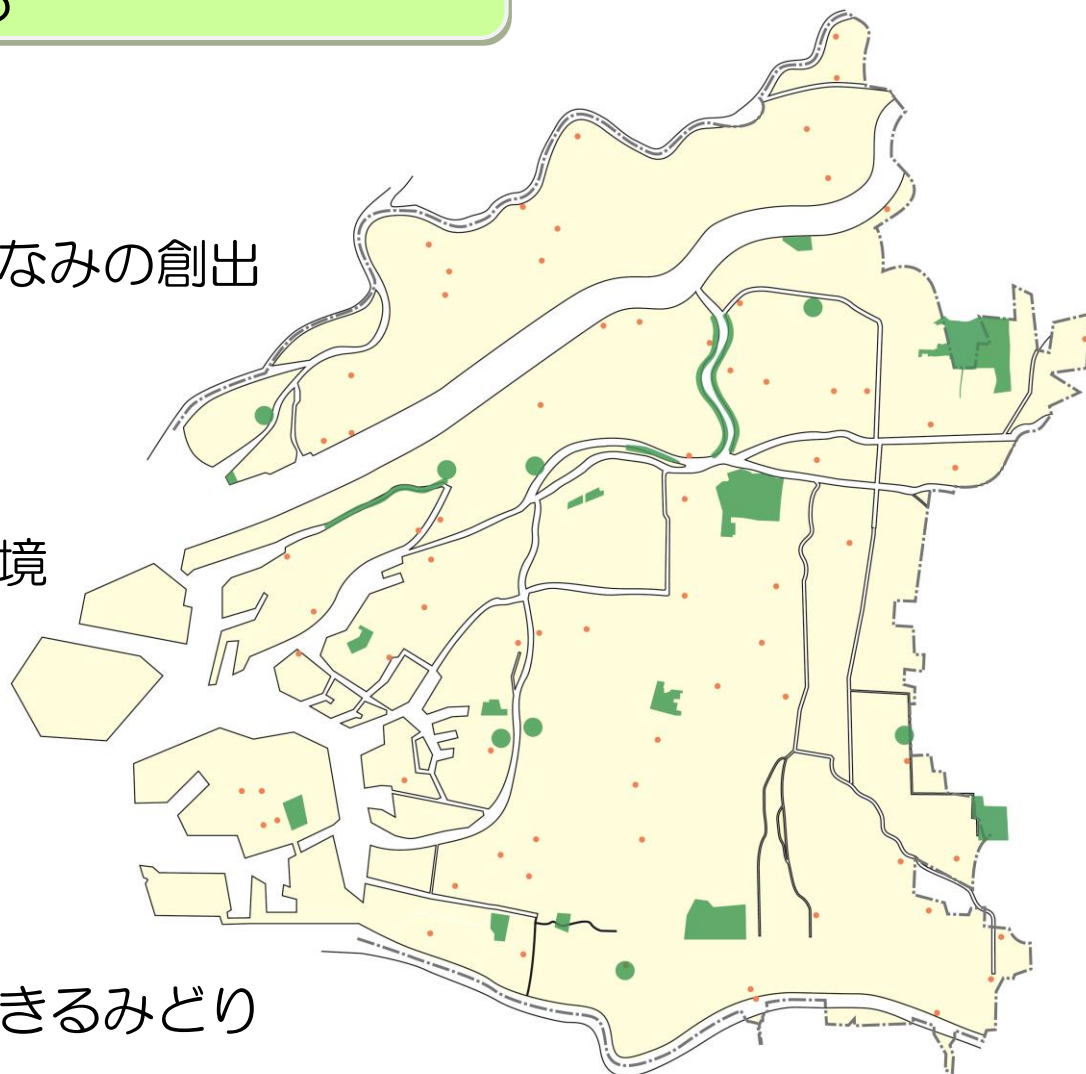
＊美しいうるおいのあるまちなみの創出

＊災害に強い都市空間の創出

＊人と自然が共生する都市環境
の創出

＊安全・安心に憩い、余暇を
楽しめる場の創出

＊人・まちが持続的に成長できるみどりの
創出



基本方針②について

みどりを市内及び周辺につなげていく
“みどりのネットワーク”を構築する

施策の方向性

✿みちみどりのネットワークの形成

✿みずみどりのネットワークの形成

✿鉄道みどりのネットワーク
の形成



大川と毛馬桜之宮公園のサクラ



基本方針③について

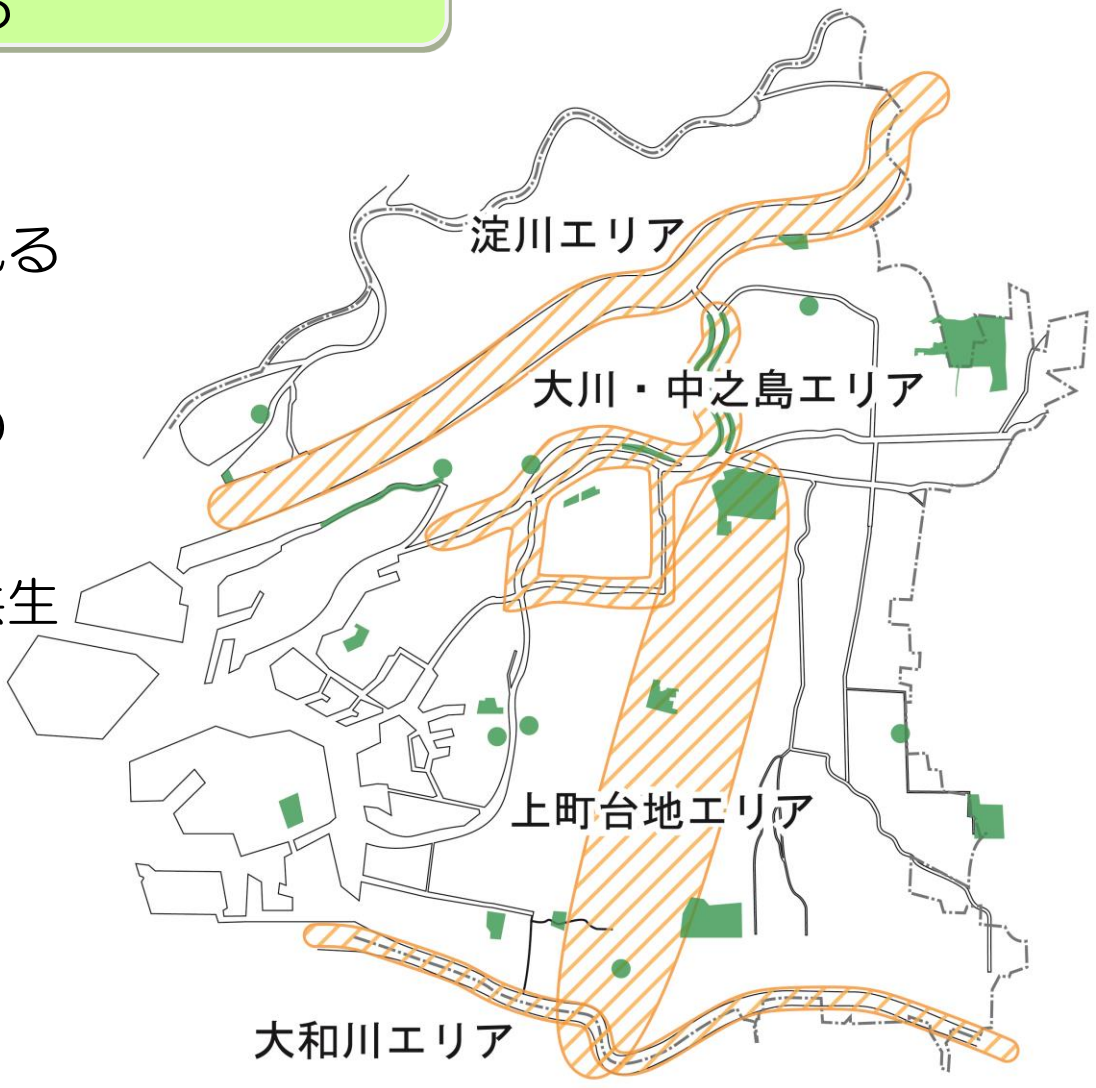
大阪の個性を特徴づける自然・歴史・文化の
“みどりの骨格”を形成する

🌿 施策の方向性

- ✿ 大阪の歴史・文化を感じられるみどりの保全
- ✿ 水都大阪を感じられる水辺の都市景観の保全・創出
- ✿ 広大で豊かな自然環境との共生



あべのハルカスから見た茶臼山と上町台地周辺



基本方針④について

既存ストックと民間活力を最大限に活かし
“みどりの都市魅力”を創出する

施策の方向性

- ✿ 都市魅力・集客力の向上
- ✿ みどりあふれる都市イメージの創出



大阪城と大阪ビジネスパーク



基本方針⑤について

市民・事業者・行政が将来像を共有し、みどりのまちづくりを推進する“仕組み”を構築する

施策の方向性

- ✿ 市民・事業者主体によるみどりのまちづくりの推進
- ✿ 多様な法制度の活用や新たな手法による都市緑化の仕組みづくり
- ✿ 市民・事業者・行政の協働によるみどりのまちづくりの推進



市民によるまちなかの花飾り



総合設計制度を活用して公開空地を創出した民間マンション

「みどりの将来像」について

みどりの将来像

つなげていく“みどりのネットワーク”

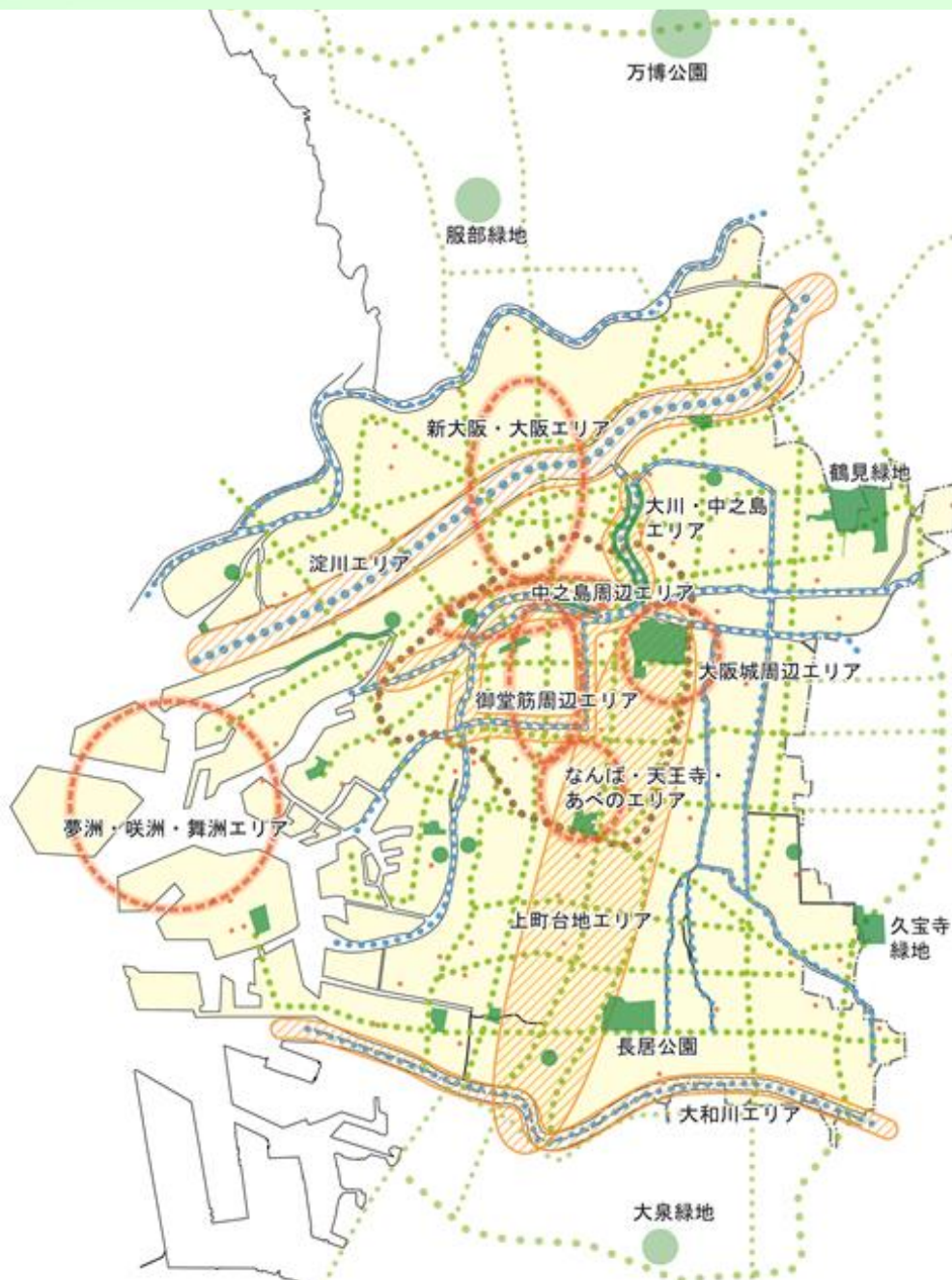
- みち みどりのネットワーク
- みず みどりのネットワーク
- 鉄道 みどりのネットワーク
- 拠点となる都市公園

“みどりの骨格”を形成するエリア

- ▨ 大川・中之島エリア／上町台地エリア
- ▨ 淀川エリア／大和川エリア

“みどりの都市魅力”を創出するエリア

- ⊙ 新大阪・大阪エリア／なんば・天王寺・あべのエリア
- ⊙ 大阪城周辺エリア／中之島周辺エリア
- ⊙ 御堂筋周辺エリア／夢洲・咲洲・舞洲エリア



「みどりのまちづくり指標」について（1/3）

みどりのまちづくりを進めていく指標として、「成果指標」、「達成指標」、「共有指標」の3つの指標を設定

成果指標について

みどりのまちづくりの成果として目指す指標

市民・事業者が実感として、市内のみどりがどうなったのか、またみどりとのかわりがどうなったのかを捉えるために、「市政モニターアンケート調査」により次の項目について調査を実施

- ① 身近な緑の満足度
- ② 緑が増えたと感じる人の割合
- ③ 身近な公園の利用頻度

	基準値 (H22.12)	H27末	H37末
①身近な緑の満足度	46.5%	約50%	約60%
②緑が増えたと感じる人の割合	28.1%	約30%	約33%
③身近な公園の利用頻度	35.1%	約40%	約50%

「みどりのまちづくり指標」について（2/3）

達成指標について

みどりのまちづくりの中で行政が目指す量的目標値となる指標

屋上緑化をはじめとした民有地緑化等の多様な緑を確保し、都市に占める緑の割合がどの程度確保できるか、またその中心的な役割を担う都市公園が市民一人当たりどの程度提供できているのかを捉えるもの

- ① 緑被率
- ② 都市公園の市民1人あたりの面積

	基準値	H27末	H37末
①緑被率※1	約10.4%※2 (H24)	現状以上	
②都市公園の市民1人あたりの面積	3.51m ² /人 (H24末)	約3.6m ² /人 ※3	約4.0m ² /人 ※4

※1 樹冠の投影面積からなる樹木・樹林に加え、芝生地等の緑被面も含めた都市の緑全体をとらえた指標

※2 大阪府調査数値（水面を含んだ緑被率は約15.8%（平成24年度））

※3・4 国立社会保障・人口問題研究所による推計人口（平成25年3月推計）から試算したもの

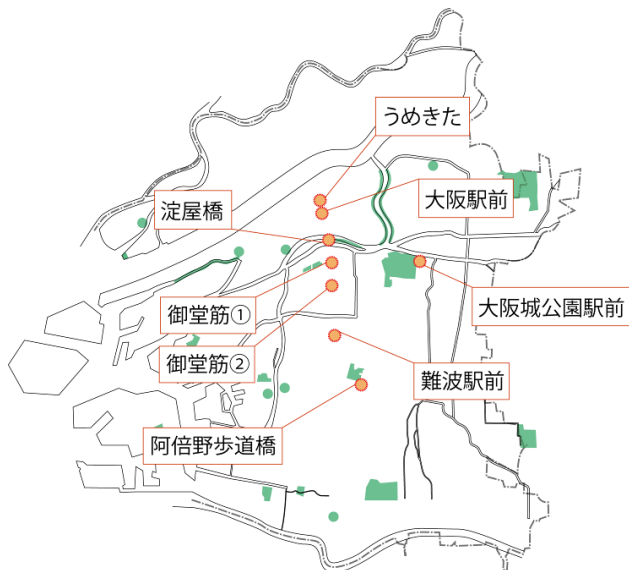
「みどりのまちづくり指標」について (3/3)

共有指標について

みどりのまちづくりの進捗を把握する尺度として定点観測及び現状公表し、大阪の顔となるような場所での緑化の意識啓発につなげるための指標

市民・事業者・行政がみどりの現状を共有し、共にみどりの保全・創出を進めていくために活用するツールとして共有できる指標

① 緑視率



測定場所	基準値	H27末	H37末
うめきた	31%	3年ごとに測定・公表	
大阪駅前	13%		
淀屋橋	17%		
大阪城公園	26%		
御堂筋①	32%		
御堂筋②	36%		
難波駅前	10%		
阿倍野歩道橋	1%		

「みどりのまちづくり指標」の平成27年度末の現況報告 について (1/2)

成果指標について

指標項目	策定時	H27末	
	基準値	目指す割合	市政アンケート結果(H28.1)
①身近な緑の満足	46.5%	約50%	46.8%
②緑が増えたと感じる人の割合	28.1%	約30%	28.0%
③身近な公園の利用頻度	35.1%	約40%	34.0%

達成指標について

指標項目	策定時	H27末	
	基準値	目標値	現況
①緑被率	約10.4%	現状以上	未測定
②都市公園の市民一人あたり面積	3.51m ² /人	約3.6m ² /人	3.52m ² /人

「みどりのまちづくり指標」の平成27年度末の現況報告 について (2/2)

共有指標について

緑視率 測定場所	策定時	H27末
	基準値	測定値
うめきた	31%	35%
大阪駅前	13%	16%
淀屋橋	17%	17%
大阪城公園前	26%	29%
御堂筋①	32%	32%
御堂筋②	36%	41%
難波駅前	10%	13%
阿倍野歩道橋	1%	0.5%

なお、成果指標及び達成指標の数値の考察については、次回の審議会において、緑の基本計画に係る取り組み状況と合わせ報告予定

○保全配慮地区の設定の考え方

大阪の個性を特徴づける自然・歴史・文化の“みどりの骨格”を形成する地域を中心に、風致地区内で寺社・仏閣等の民有地と公共空間とが一体となって一団の“みどり”を形成している地区、4地区を指定

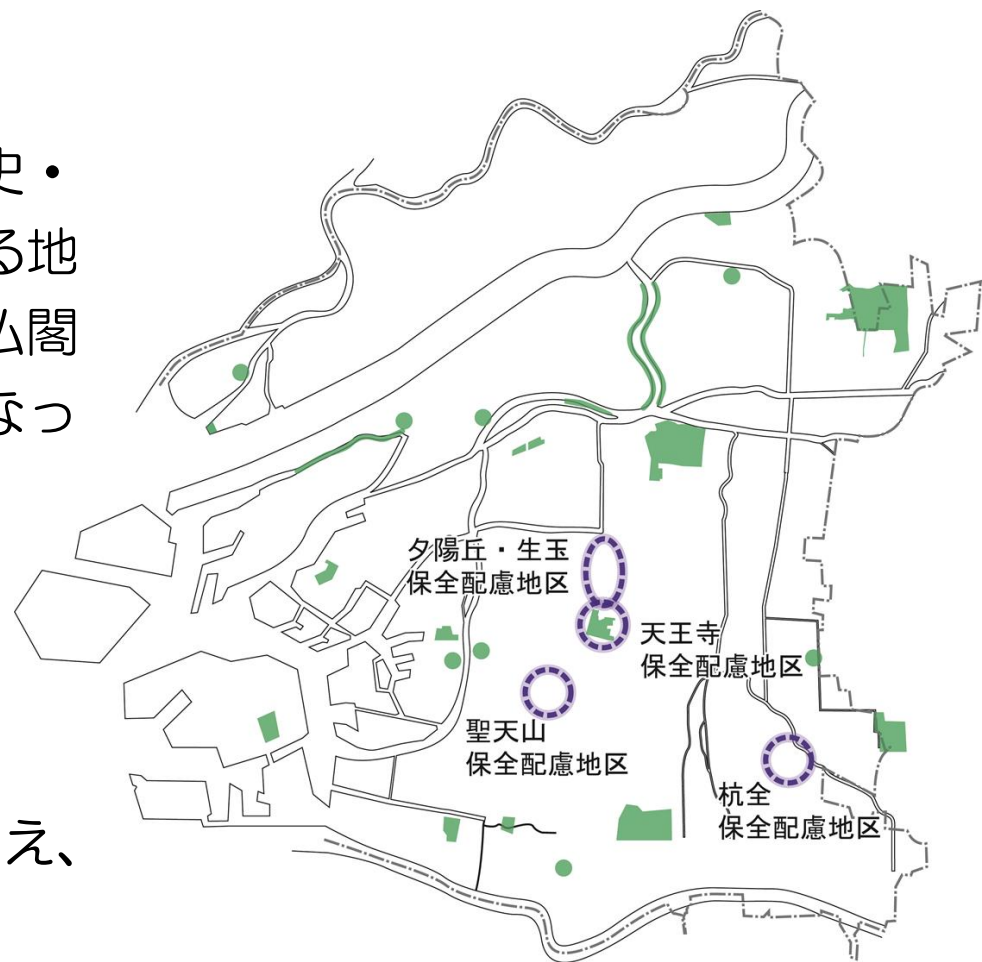
○保全配慮計画とは

市内における緑地の状況等を踏まえ、

- ・ 風致景観の保全の観点
- ・ 生態系の保全の観点
- ・ 自然とのふれあいの場の提供の観点

から、みどりの保全に関する将来像を定めた

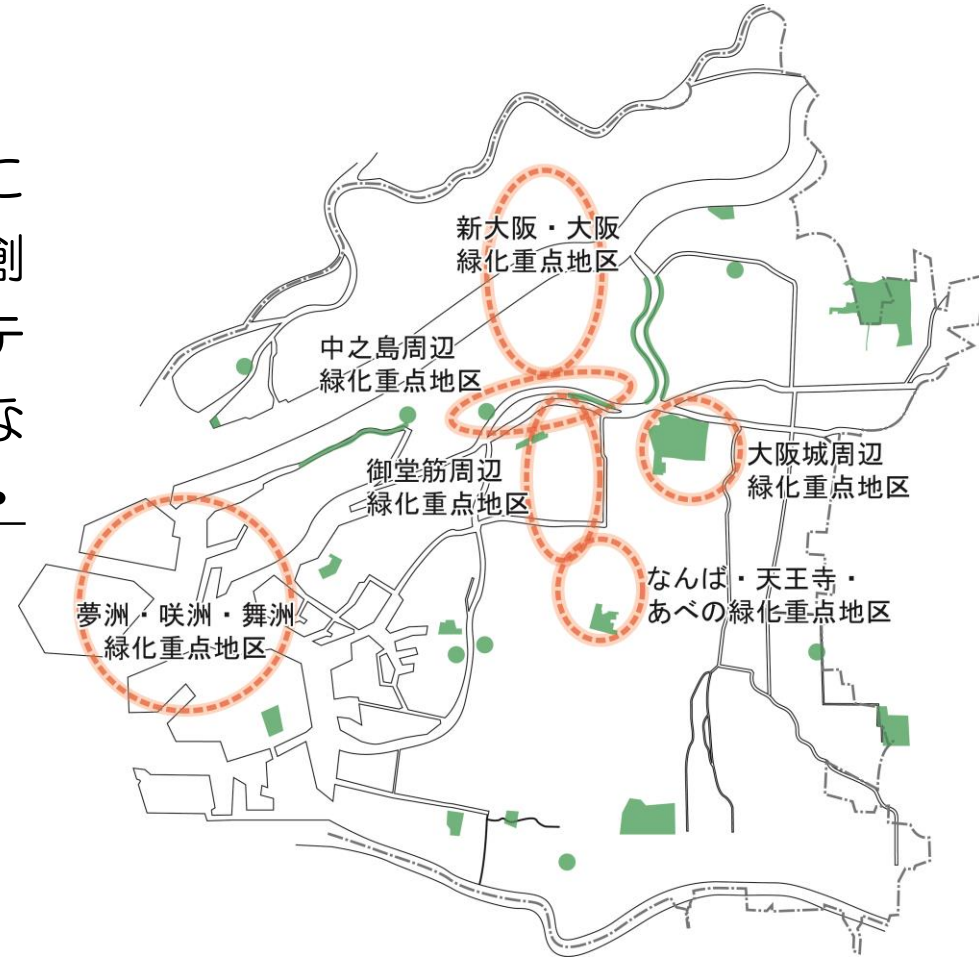
『地区毎の特性に応じた、緑地の保全を実現するための計画』



緑化重点計画について

○緑化重点地区の設定の考え方

既存ストックと民間活力を最大限に活かし、“みどりの都市魅力”を創出する地区で、かつ大阪らしいポテンシャルとストックを持つ象徴的なエリアとして、グランドデザイン・大阪において指定された地区を参考に6地区を指定



○緑化重点計画とは

みどりを通して、

- 大阪の都市魅力の向上の観点
- みどりの都市イメージの構築の観点

から、緑化の推進に関する将来像を定めた

『地区毎の特性を活かした、緑化を推進するための計画』